

郷中だより

令和2年 7月13日
倉敷市立郷内中学校長発行
学校だより 第6号

二十四節気の小暑を過ぎ、紫陽花も梅雨明けを待っているようです。今年も7月第1週目に発生した線状降水帯が大雨を降らせたために、九州地方や岐阜県、長野県などでは甚大な被害を受け、たくさんの方が犠牲になられました。倉敷でも7日の夜から8日の明け方までは、2年前の豪雨を思い出させる雨の勢いでした。皆様のご親戚の方などは、大丈夫だったでしょうか。被害を受けられました皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早く安全な生活が送れるようになりますことをお祈り申し上げます。

さて、生徒の皆さんは今日と明日の期末テストに備えメディコンウイークに入っていますが、メディアとのつき合い方は上手になってきているでしょうか。先日実施した「スマホ・ネットとのつき合い方チェックシート」の結果や健康面も鑑みて、日頃から自分とメディアとの距離感を考えていきましょう。

生徒も先生も頑張っています

コロナ禍で、音楽の授業では合唱やリコーダーを一斉に行うことができませんし、他の授業でもコミュニケーション活動が以前ほど頻繁にはできなくなっています。そのために先生たちは、休校期間中も各教科の専門的な知識や教え方などをリモートで研修したり、授業で使うワークシートを工夫したりしながら、日々、授業力を上げていくことに一生懸命に取り組んでいます。

今年度の初めに本校の英語の先生方から「生徒の学力を上げるために私たちも勉強したい!」という強い要望がありましたので、岡山県教育委員会の英語指導の先生を派遣していただくことになりました。毎月1回授業の様子をみていただき、英語の先生の授業に対して改善に向けた指導・助言をいただきます。先週、第2回目の1年生と3年生の授業を見ていただきました。1年生の授業では、「生徒たちは声もよく出ているし、英語の音を聞き取る耳がよい。反応もよいし、積極的に発表する姿勢がとてもよい。」とほめてくださいました。3年生の授業では、広島を題材にした教科書の内容からクイズを作る授業内容でした。「広島に関して2年生で研修したことをよく覚えていて、バラエティーに富んだクイズがたくさん出てきた。男子生徒がとても積極的に授業の流れを作ってくれている。意見を出し合い深い学習ができていた。」と感心されていました。自信をもってこれからもスモールトークやペラペラなどたくさん活動を続けましょう。私も後方で参観していて、どちらの授業にも参加したくなるほど、楽しかったです。



(裏面に続く ☞)

郷内中のウェルカムウィンドウから

生徒会の方針を郷内中のウェルカムウィンドウに貼っています。



「地域の方が中学生を応援してくださるから頑張れるし、支えてくださったから、ここまで成長できた。これからは地域のために私たちも役に立ちたい。」という思いを地域の方々にも伝えたくて、生徒会執行部が気持ちを込めて書きました。正門から3階を見上げてくださいね。季節ごとの飾り付けも楽しんでいただけるように工夫します。

ある保護者の方からいただいた幸せ

今年は、保護者の方とのあいさつ運動ができないまま1学期が過ぎてしまいそうですが、先日、うれしいことに、「小学生を送っていったので、ちょっと寄ってみました。」と、保護者の方が自主的に校門に立ってくださいました。思いがけないあいさつ運動に、私たち教職員もテンションが上がりました。さらに、その保護者の方が地域の方とお話をされた時のことを話してくださり、「中学生や先生をほめてもらおうと、自分のことのように感じて、とてもうれしかったです。」と言ってくださいました。

「ちょっと中学校に寄ってみよう」と思ってくださいましたお気持ちと、中学校を家族のように思ってくださいていることがとてもうれしくて、幸せな気持ちになりました。大人になっても、自分が大切にしていることや頑張っていることを声に出してほめていただくと、とてもうれしいですね。大人になるほど、「できて当たり前」という意識になることが多くなるからでしょうか。なかなか思っても声に出してほめることが少なくなっているような気がします。また、日常的に「ありがとう」や「ごめんなさい」がきちんと言える人をみると、「素敵な生き方をされているなあ」と感じます。

今年の七夕に、『郷内中が「ありがとう」の学校になりますように』と書きました。

3年生にたくさんの思い出作りを！

3年生の修学旅行については、昨年度の終わりがらから「行き先についてのアンケート」をとったり、民泊についての調査を進めたりしているところではありましたが、残念なことに、今年度の修学旅行が中止になりました。卒業までの8か月間に、コロナ禍に伴う規制はあるとは思いますが、安全を確保した上で、「郷内中で過ごせてよかった」と感じるような思い出をしっかり作ってほしいと願っています。1年生、2年生も、さまざまな行事を考えていく中で、「どういった方法だったら、みんなで楽しく安全にできるかな」という意識をもって考えていきましょう。きっとこれからの世の中では、コロナ以外の新型ウイルスや災害などと共存していく知恵や新しい生活様式を見出していく力がますます必要になっていくと思います。

みんなで知恵を出し合い、郷内中ができることを考えていきましょう！